

東海経済レポート(2022年3月)

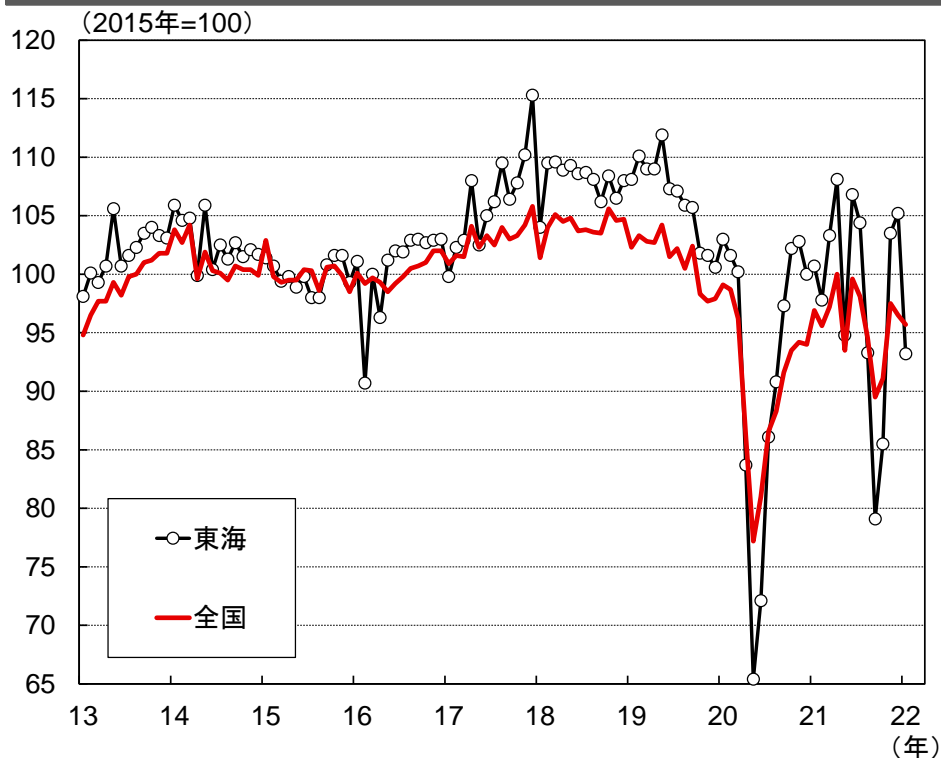
2022年3月24日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)

概況・生産

- 東海経済は、3月21日にまん延防止等重点措置が解除されたこと等を受け足元持ち直し基調にあるが、ウクライナ危機の勃発で先行き不透明感が強まっている。
- 製造業は、資源価格上昇によるコスト増や半導体などの部品不足の影響が続いていることに加え、国際的な物流の不安定化が生産の重石に。一方、飲食や運輸、宿泊などのサービス業については、まん延防止等重点措置が解除されたことで人出の回復が予想される。
- 1月の鉱工業生産指数は前月比▲11.4%と4ヵ月ぶりに低下、水準は93.2とコロナ禍直前の2020年2月(101.6)を3ヵ月ぶりに下回った。業種別にみると、電子部品・デバイス(同+27.0%)、生産用機械(同+2.9%)、電気機械(同+1.8%)が上昇した一方、輸送機械(同▲24.1%)が低下。

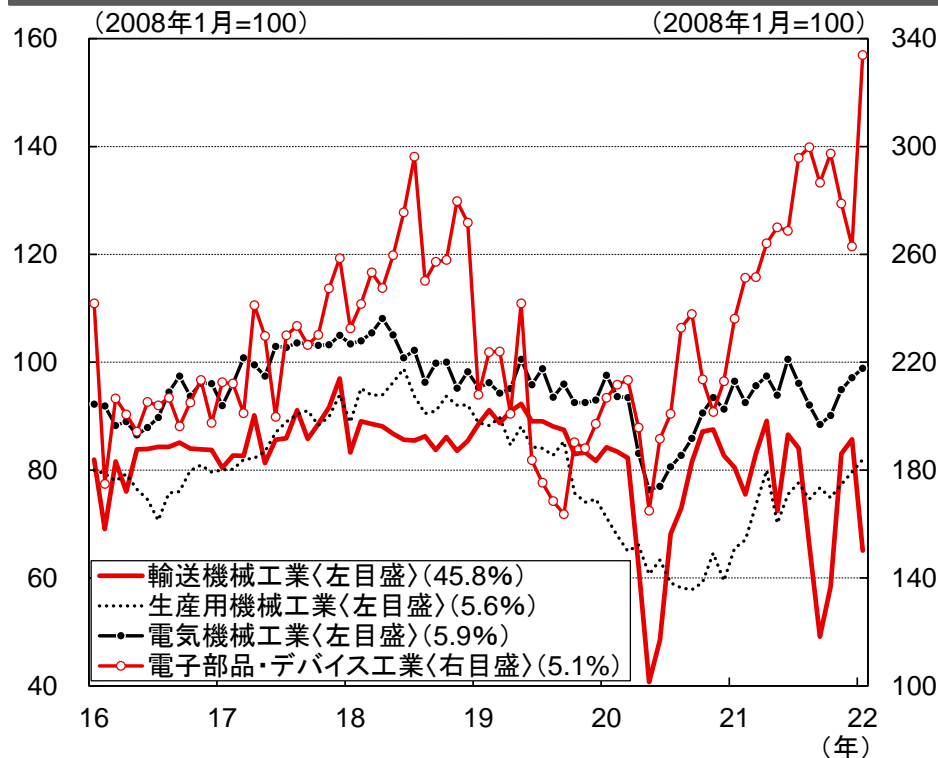
鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

業種別の鉱工業生産指数(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

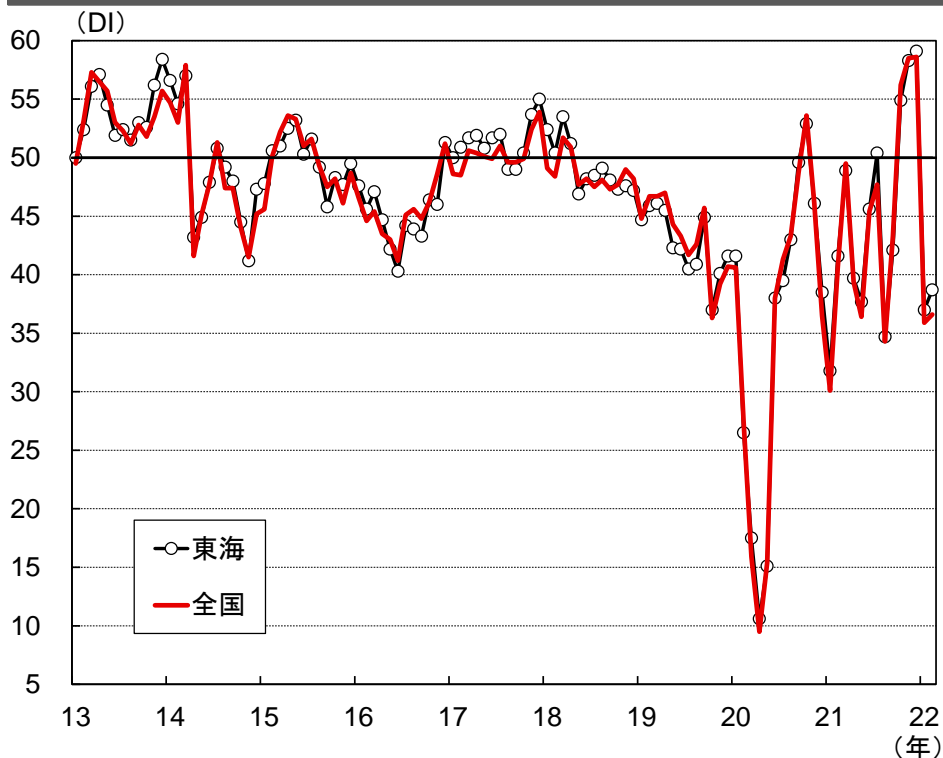
2. ()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)。

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景況感・輸出

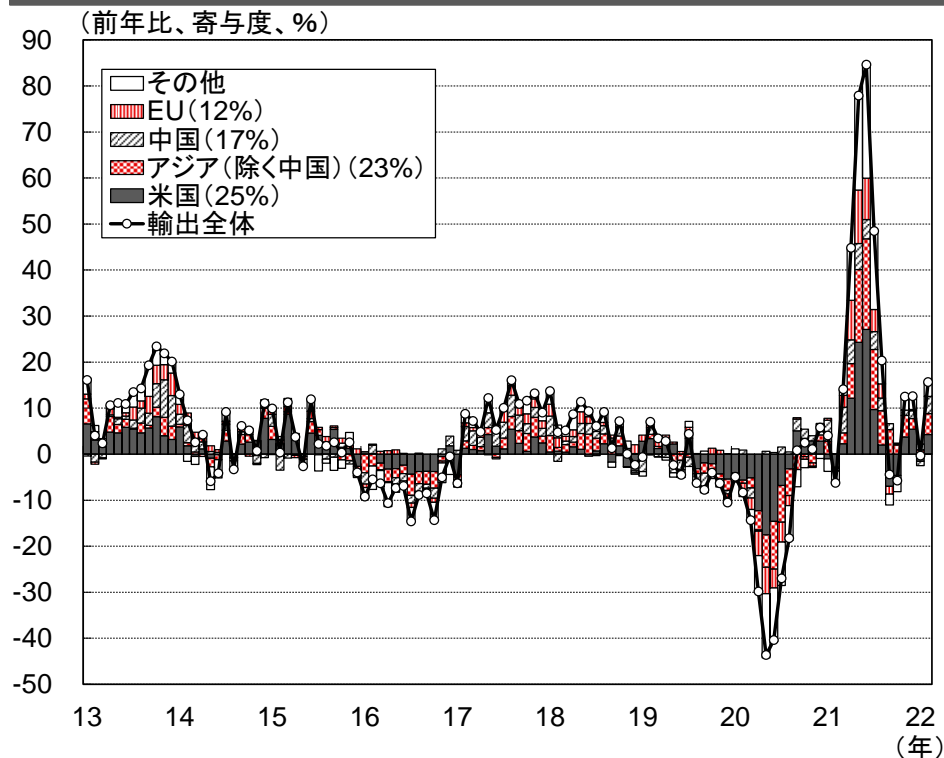
- 2月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは38.7(前月比+1.7ポイント)と2カ月ぶりに改善も、まん延防止等重点措置が講じられていたこと等から2カ月連続で50を下回った。
- 2月の輸出額(円ベース)は前年比+15.6%と2カ月ぶりに増加、金額は1.6兆円とコロナ禍前同月(1.5兆円)を上回った。地域別では、EU向け(同▲0.1%)が僅かに減少した一方、中国向け(同+23.0%)、アジア(除く中国)向け(同+19.5%)、米国向け(同+17.7%)が増加。品目別では、工作機械(同+52.7%)、一般機械(同+20.4%)、電気機器(同+20.0%)、自動車(同+18.5%)がいずれも増加。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出額(東海)

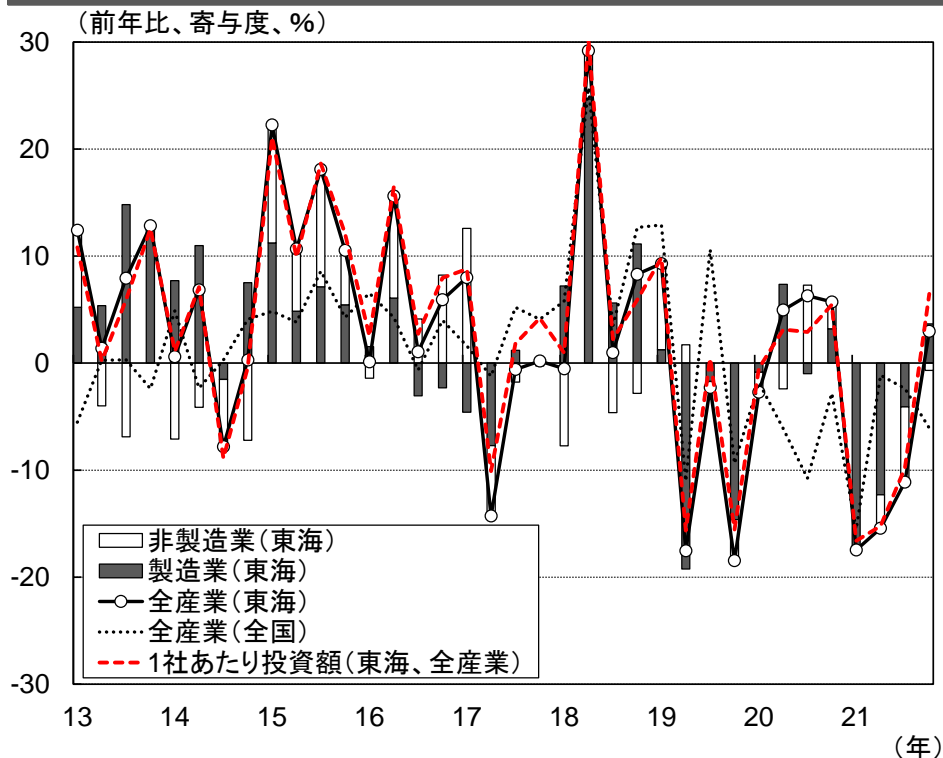


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2. ()内の数値は2021年輸出総額に占めるシェア。
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

設備投資・機械受注

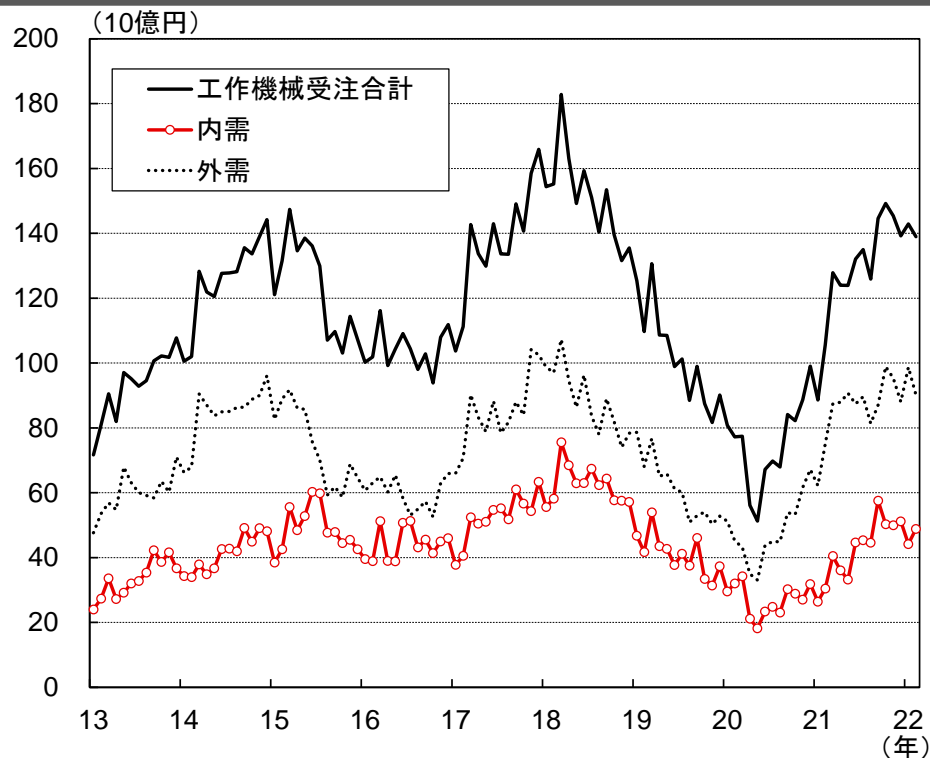
- 昨年10-12月期の大企業の設備投資は前年比+3.0%と4四半期ぶりに増加。製造業が増加に転じたことに加え、非製造業は減少幅が縮小。
- 2月の全国の工作機械受注額は前年比+31.6%の1,389億円と16ヵ月連続で増加。このうち、外需は同+20.0%と16ヵ月連続で増加、内需は同+60.4%と12ヵ月連続で増加。

大企業の設備投資



(注) 1. 『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
 2. 資本金10億円以上の企業を対象。
 3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
 4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出。
 (資料) 東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

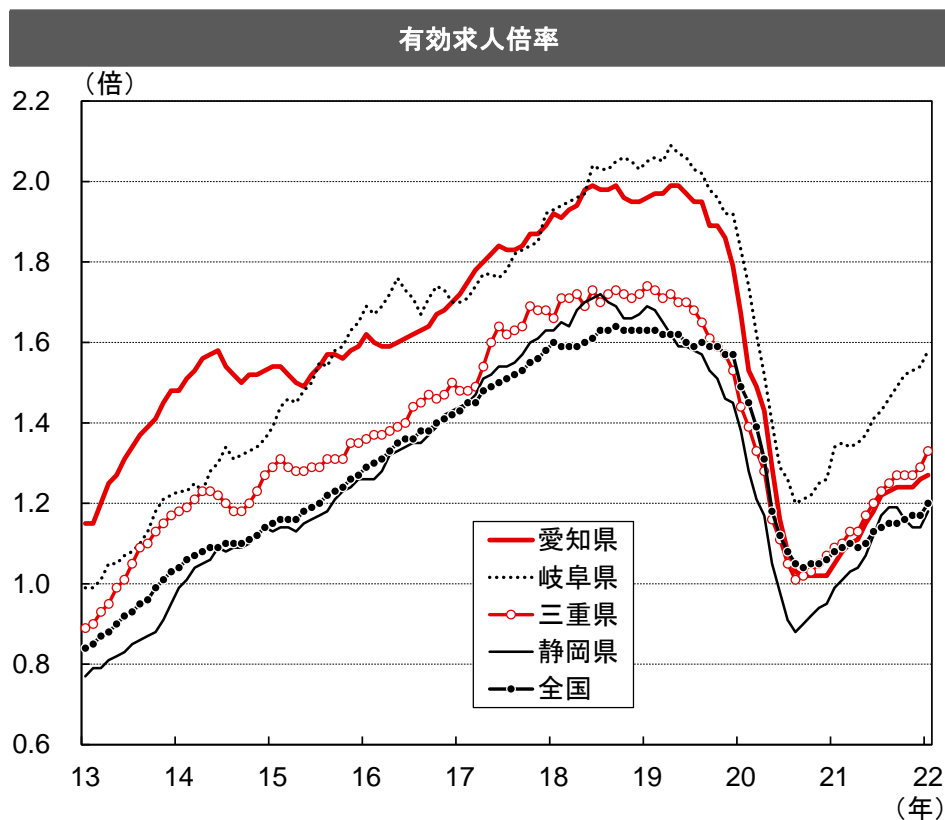
工作機械受注額(全国)



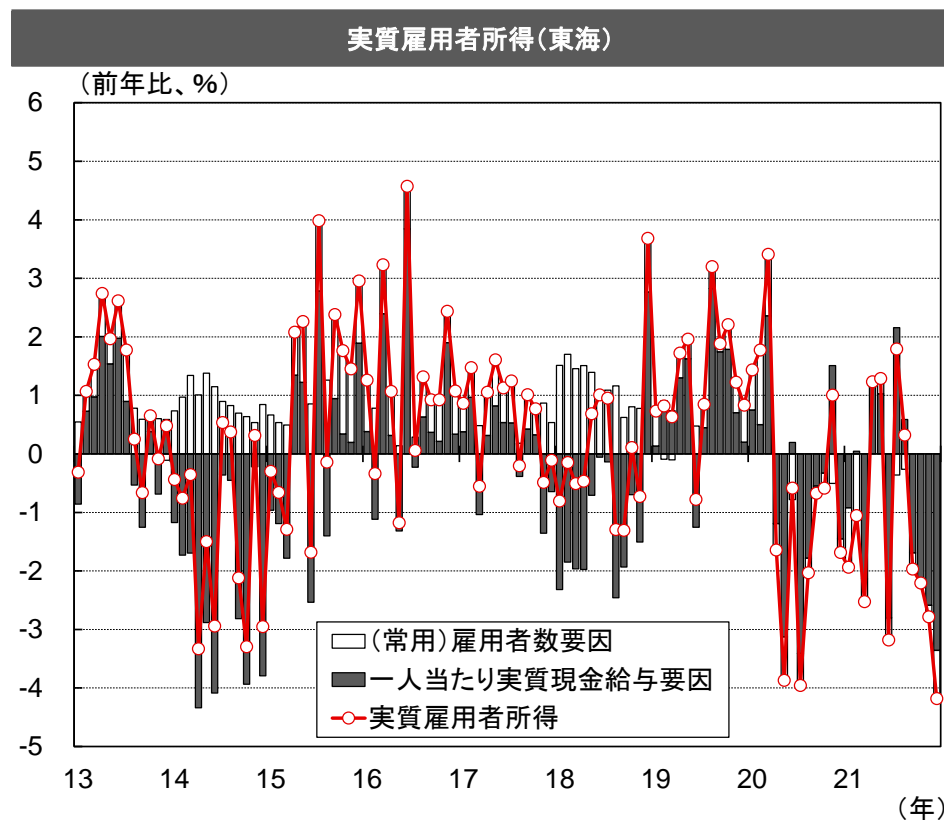
(資料) 日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

雇用・所得

- 1月の有効求人倍率は東海4県でいずれも上昇。静岡県は3ヵ月連続で全国を下回った。
- 昨年12月の実質雇用者所得(3県合算)は前年比▲4.2%と4ヵ月連続で減少。一人当たり所得、雇用者数がいずれも減少。



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

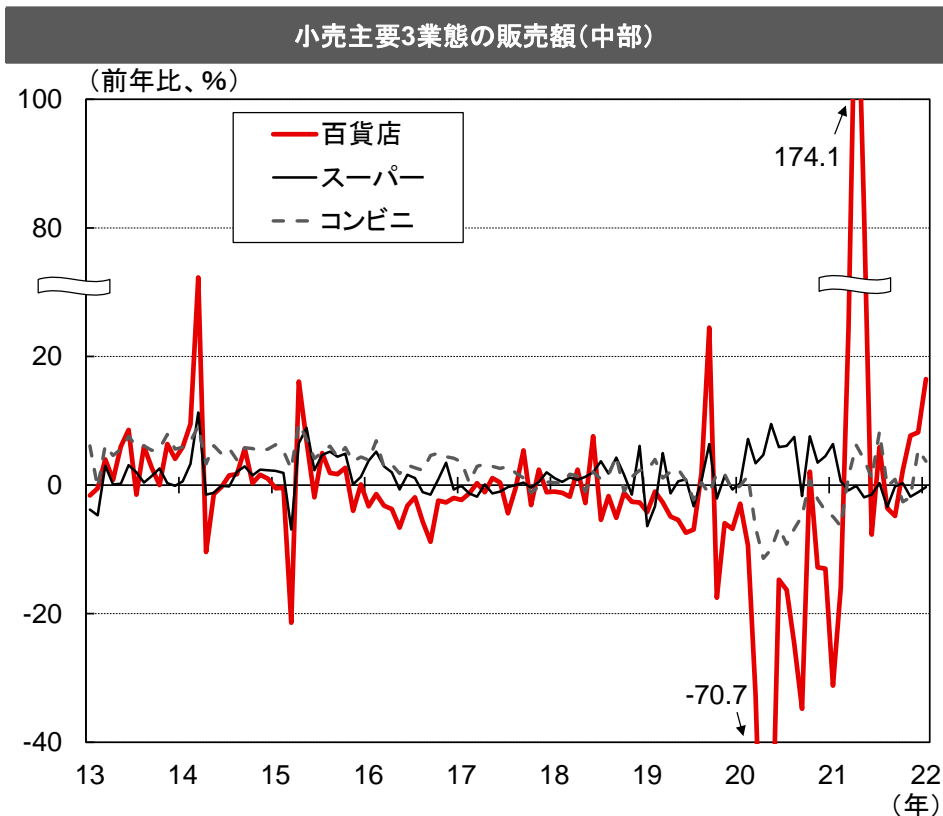


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

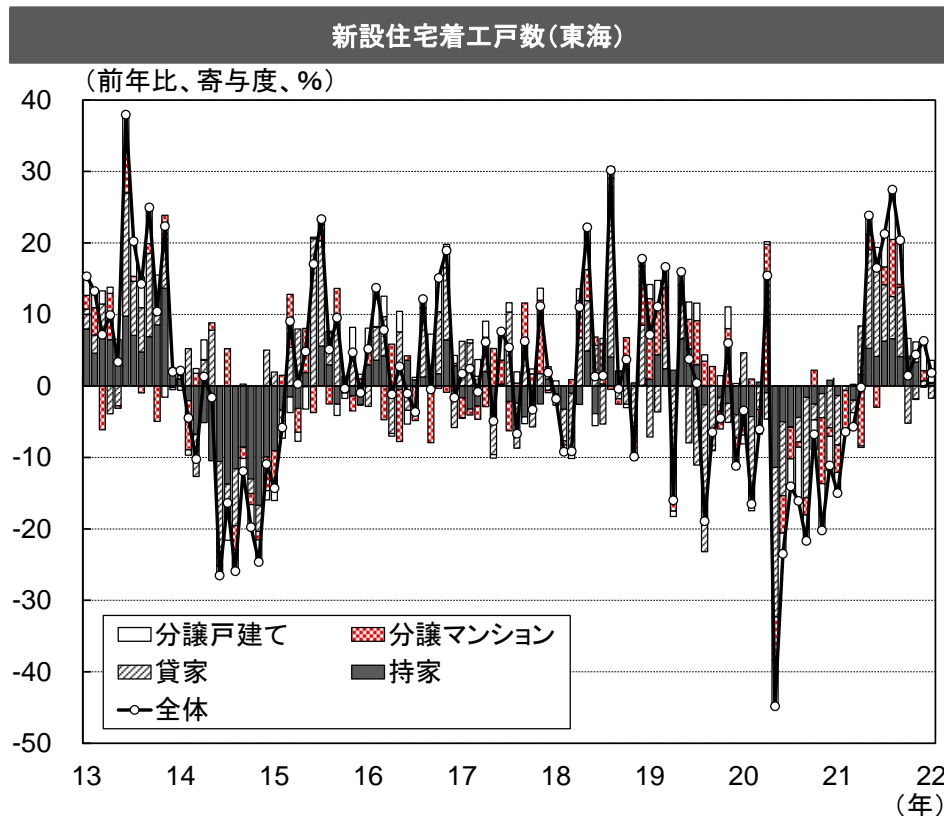
(資料)各県勤労統計、内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

個人消費・住宅投資

- 1月の小売主要3業態の販売額は、百貨店が前年比+16.5%、コンビニが同+3.7%と増加した一方、スーパーは同▲0.3%と減少。コロナ禍前同月と金額水準を比較すると、スーパー(1,580億円)は上回った一方、コンビニ(971億円)は僅かに下回り、百貨店(366億円)は8割程度に止まっている。
- 1月の新設住宅着工戸数は年率6.4万戸、前年比+1.8%と9ヵ月連続で増加。用途別では、貸家(同▲5.2%)が減少した一方、分譲戸建て(同+15.9%)、分譲マンション(同+1.1%)、持家(同+1.0%)はそれぞれ増加。水準はコロナ禍前同月の8割程度。



(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

原油価格・円相場・株価

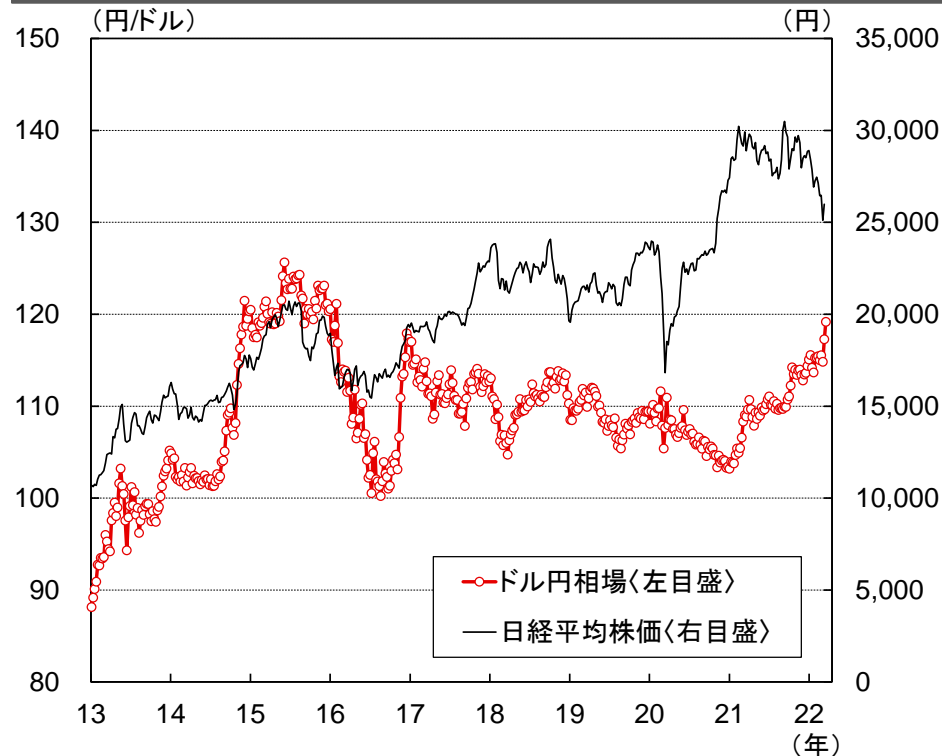
- 原油価格は、ロシアのウクライナ侵攻に伴いロシア産の供給が滞るとの懸念から、一時1バレル130ドル台まで上昇。その後は、停戦交渉進展への期待などから同93ドル台まで下げる場面もあったが、足元では再び制裁強化が意識され同110ドル台で推移。
- ドル円相場は、米国FRBの金融正常化スタンスの強まりを背景とした米国金利上昇を受け、足元で1ドル120円台まで下落。
- 日経平均株価は、ウクライナ危機を巡る不透明感の高まりから一時2万4千円台に下落。足元は、2万8千円前後で推移。

原油価格



(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ドル円相場・日経平均株価



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒460-8660 愛知県名古屋市中区錦3-21-24

照会先：中村 拓郎 e-mail：takurou_nakamura@mufg.jp